

PORT SAPIE

ぽろとさぴえ

Vol. **20**
2007.July

ぽろとさぴえ 2007.July Vol.20

函館大学広報誌VOL.20 発行/函館大学広報誌編集事務局



特集 「地域」と「大学」 函館大学が示す社会貢献の姿

平成18年度就職実績

就職内定率97.6%の高実績を確保
前年比5.4ポイントの大幅増

平成20年度入試制度

函館大学へのアプローチ図解入試制度



| 1 | 年 | 間 | の | 主 | な | 日 | 程 |

- 3月30日 公務員ガイダンス(以降毎週土曜日・8日間)
- 4月 9日 第1回就職ガイダンス(3年次:以降20回開催)
12日 キャリア講演会(第1回)
- 5月21日 AO入試(A日程)面談申込受付開始(~9/29)
- 6月 2日 英語検定受験対策講座(第1回)
15日 協学会地区懇談会(熊本)
16日 協学会地区懇談会(福岡)
- 7月 5日 交換留学生修了式・派遣留学生許可書交付式
6日 キャリア講演会(第2回)
12日 協学会地区懇談会(新潟)
29日 オープンキャンパス(第1回)
30日 前期授業終了
- 8月 6日 前期末試験開始(~8/8)
9日 夏季休業開始(~9/15)
短期語学研修(~9/6)
14日 3年次インターンシップ研修開始
- 9月 2日 協学会地区懇談会(函館)
3日 協学会地区懇談会(札幌)
4日 協学会地区懇談会(旭川・青森)
5日 協学会地区懇談会(室蘭・仙台)
6日 協学会地区懇談会(東京)
18日 後期授業開始
19日 学園創立記念日
28日 インターンシップ体験報告会
- 10月 1日 就職内定公示
AO入試(B日程)面談申込受付開始(~12/21)
2日 3年次就職活動決起大会
6日 英語検定受験対策講座(第2回)
7日 オープンキャンパス(第2回)
12日 大学祭(~10/15)
20日 高校生英語スピーチコンテスト
24日 試験入試(特別奨学生選考を含む)〈A日程〉
編入学入試〈A日程〉
- 11月22日 推薦入試〈A日程〉
- 12月15日 本学主催業界研究会・就職懇談会(函館)
18日 冬季休業開始(~1/8)
- 1月 8日 AO入試(C日程)面談申込受付開始(~3/4)
9日 後期授業再開
31日 卒業論文提出締切(1/29~)
後期授業修了
- 2月 1日 試験入試(特別奨学生選考を含む)〈B日程〉
社会人入試・編入学入試〈B日程〉
7日 後期末試験(~2/21)
- 3月 1日 春期休業(~3/31)
7日 試験入試(特別奨学生選考を含む)〈C日程〉
推薦入試〈B日程〉
16日 第40回卒業式

函館大学 広報誌編集事務局

〒042-0955 函館市高丘町51番1号
TEL(0138)57-1181 FAX(0138)59-4575

「ほるとさびえ」は、ラテン語のポルトス(港や門を意味します)とサビエンティス(知恵や英知を意味します)を参考にしてつけられた題名です。皆様のご支援と叱咤激励により、親しみやすさのなかにも、大学らしい英知の香を漂わせる誌面づくりを心がけてまいります。



表紙/函館市街地(空撮)

Contents

- 特集 「地域」と「大学」 函館大学が示す社会貢献の姿1
- 学長インタビュー 地域のアカデミックの拠点として 存在感と信頼感に富む大学6
- 平成18年度就職実績 就職内定率97.6%の高実績を確保7 前年比5.4ポイントの大幅増
- FROM THE WORLD 中国・南開大学浜海学院へ派遣されていた坂野 学准教授が帰国10
- 平成20年度入試制度 函館大学へのアプローチ図解入試制度11
- 出身校紹介 北から南から13
- 教育エッセイ 心の声を聞く 親・教師は子どもの伴走者 金山 健一(専任講師/心理学・教育心理学)15
- 函大ing Club Topics 2006年度 函館市スポーツ賞を受賞 ボウリング部男子チーム、少林寺拳法部 上山・佐藤組16 ボウリング部男子チーム準V 個人選手権では鈴木大介くんがV17 ハンドボール部200連勝達成 リーグ戦は41連覇!17 函大♥ガールズが、ツリーコンテストで2位18 めざせ神宮大会! 函大野球部球援会が誕生18
- キャンパスリポート 函館大学主催の 第1回高校生英語スピーチコンテスト19 鈴木将之くん(4年)が英検、TOEICダブル栄冠19 環境問題研究同好会が発足1年目からがんばってます!20 それぞれの心に刻まれた貴重な学習 ボランティア報告会開催20 平成19年度の公開講座と18年度公開講座実績 平成18年度 学校法人野又学園決算書21
- 捜索アラカルト [国際関係論] 島村 矩生(客員教授)22

「地域」と「大学」

社会貢献の姿

特集 函館大学が示す

函館大学は、大学の個性・特色の中心に「幅広い職業人の養成」と「社会貢献機能」の二つを位置づけています。なかでも地域における大学の存在意義を追求・高めていくために進展する「社会貢献」の動きを追っていきます。

地域にある大学としての 函館大学の存在意義を追求

「函館大学は「函館大学の基本理念、使命・目的」のなかで、本学の個性・特色を「地方の商学部単置の大学としてのアイデンティティを持つ。本学では、社会に見えるよう透明性が高く、アカウンタビリティ

にあふれる大学づくりに努め、社会からあつく信頼される大学になる」を定め、「幅広い職業人の養成」と「社会貢献機能」の二つをその中心に置いています。

小笠原 愈学長は、社会貢献の目的を「本学が蓄積してきた知的資源や教育、研究成果を提供すること、あわせて質的に高度度かつ継続的な学習機会を提供することを通して、社会の振興充実に資する」とし、そのため具体的には、「存在感と信頼感に富む大学となるために、各種の教育事業の諸成果を学生のみならず教員が発表、表現して社会のなかで本学の個性をより明確化していくこと」であると語っています。

大学はこれまで教育・研究機関としての機能に重点を置いてきましたが、教育・研究は社会に役立てることが本来の目的です。その実践として社会貢献事業があり、また実践によって得られる社会からの反応を教育研究にフィードバックするという相乗効果が生まれます。「特に商学という実学を追究している本学にとっては、社会との関連性が非常に重要」と小笠原学長は言います。

「産学官連携」「高大連携」「開かれた大学」、それぞれのテーマで展開している、函館大学の社会貢献事業を具体的にみていきましょう。



産学官連携

- ・大学内産学官連携研究センター
- ・北海道産業開発研究所、経営研究所
- ・函館雇用創造協議会構成団体(函館精鋭塾)
- ・アカデミックフォーラム
- ・街づくりフォーラム
- ・クリエイティブネットワーク等

高大連携

- ・連携校生徒への学修支援
- ・教員の研修
- ・高校生向け講座
- ・放送大学との単位互換

開かれた大学

- ・放送大学函館学習室(函館大学内)
- ・小学校英語指導者養成講座
- ・聴講制度、科目等履修制度
- ・公開講座、教養講座
- ・海外姉妹校交流

函館大学が実践する 社会貢献



本学教員による出前授業

高大連携事業の動きは、本学の教員による出前授業や資格試験の受験指導などの教育支援、高校教諭に対する生徒指導などの講習、クラブ活動への協力が主なものでした。

この動きに新たな試みを加えました。その一つが、八雲高校が毎年行っている課題研究への協力です。

八雲高校総合ビジネス科の三年生は毎年、年間カリキュラムとして課題研究に取り組んでいます。課題研究では商品開発や販売実習、そして研究発表を行います。八雲高校生は本学を訪れ、本学教員からマーケティングや販売、市場調査についての授業を受けました。

研究発表については、テーマの設定やプレゼンテーションについてアドバイス、「課題研究発表会」当日も出席し講評を与えるなどの協力を行いました。

市・函館雇用創造促進協議会が主催、函館大学が運営するという形でスタートしています。函館雇用創造促進協議会は産学官七団体が構成されていますが、函館大学は教育機関としては唯一参加しています。

「函館・精鋭塾」は函館市が厚生労働省から助成を受けている雇用創造促進事業の一環として採択されたもので、若手企業経営者の能力開発、起業家養成を目的としたセミナー事業です。年間十八回にわたるセミナーのプログラム作成や、学内外からの講師派遣を本学教員が担っています。年間三十人前後の若手経営者が受講し、今年で三年目を迎えています。

またクリスマスファンタジーにおける観光リサーチや、福祉用具の使用状況やあり方についてのアンケート調査なども実施しています。

そのほか、行政の各種審議会や産学官連携組織への教員派遣、観光や事業の調査なども行い、地元経済界に結果を報告するなどのプロジェクトも進んでいます。

地元経済へ寄与する産学官連携は、ここに集約されます。

本学で授業を受けた高校生にとっては、大学での勉強を一定早く経験したことになります。指導に当たったマーケティングの日野准教授は、「調査から発表までのプロセスは、大学や社会で必ず経験することです。それを早い時期に経験してみる意義は大きい」と、高校生への学習効果を考えます。

この課題研究を経験し、八雲高校から今春本学へ入学してきた学生は、「いろいろ調べる作業は楽しかったけど、それをどう結論づけるのかは難しかった」、「高度な勉強をして、大学進学への意欲がわいた」などと、そのときの気持ちを語っています。

もう一つの事例は、青森商業高校と行った高校生と大学生の共同研究で、「地元のブランド性を生かした商品開発」というテーマでの企画書づくりを行いました。

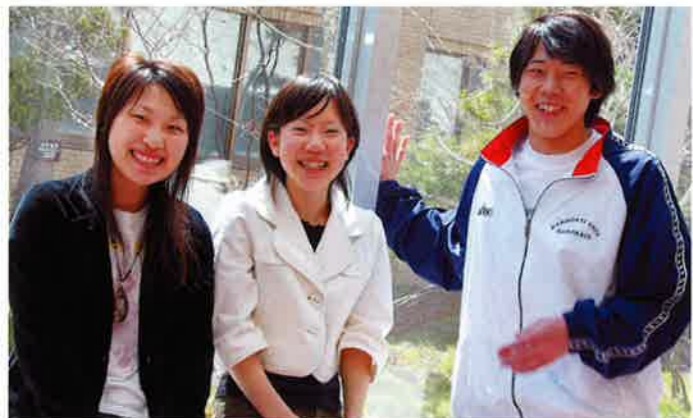
高校生にとっては初めての勉強であり、大学生にとっては勉強の再確認になり、互いへの学習効果が期待できます。小笠原学長は「商業高校と商学部大学の新たな高大連携の形」として、今後さらに発展させていく考えです。

さらに、総合学科として特色のある森高校とは、情報、福祉などの分野での新たな連携が加わる予定です。

また昨年十月に、本学が主催、函館市教育委員会等八団体の後援を得て「高校生英語スピーチコンテスト」を開催しました。高校英語教育の支援を目的としたこの催しも、もう一つの高大

連携の形といえるでしょう。これには、青函インターブロック交流圏推進協議会（青森、北海道が主催）の研究助成を受けています。

専門教育の提供だけでなく、高校生に対しより高度な学習への意欲喚起や、知的好奇心を刺激することも、高大連携の大きな効果といえるでしょう。



課題研究に取り組んだ八雲高校から今春入学した菊池ユリヤさん、川本愛さん、高野和也くん

函館大学との連携高校

- 付属有斗高校、付属柏稜高校に加えて
- ・函館商業高校・函館西高校・知内高校・八雲高校
 - ・青森商業高校・森高校（予定）の6校

八雲高校 高大連携による課題研究発表会



昨年1月に行われた八雲高校「課題研究発表会」。これに先立ち、10月に八雲高校生が本学を訪れ、日野准教授によるマーケティング調査についての授業を受けました。そして各グループが予定しているテーマについても、その資料収集方法や活用法などを、日野先生が具体的にアドバイス。高校生たちは、このアドバイスを受けて課題研究を本格的にスタートしたようです。1月の発表会に参加した日野先生は、「あらかじめ仮説を立てて調査を進めることが重要です。それぞれに難しいテーマによく取り組んだ」と講評を述べました。

高大連携 高校生と大学生の共同研究など 高大連携に新たな試みを実践

平成十五年からスタートを切った函館大学の高大連携事業。現在は付属高校二校を含む道内六校、青森県一校

と、連携協定を結んでいます。また、今年七月には近郊の森高等学校が協定校になる予定です。

産学官連携

地元経済振興・発展へ寄与するため 教員・学生の研究成果を還元

平成十七年七月、函館大学内に「産学官連携研究センター」が立ち上げられました。教員の研究テーマから産学官で推進するにふさわしいものを公募し、学内で協議しながら具体的にプロジェクトを推進していくのが、このセンターの機能です。現在では、雇用促進創造プロジェクト、観光事業効果等調査プロジェクト、アクティブシニアプロジェクト、地域ボランティアプロジェクトなどを構成し、動き出しています。

例をあげると、雇用促進創造プロジェクトは「函館・精鋭塾」の名で函館



「ビジネスフロンティアカップ」で発表した4人の学生

左から 大橋あすかさん(2年・北海道戸井高校)、藤村貴仁くん(2年・盛岡中央高校) 橋本拓尚くん(2年・函大付属柏稜高校)、門脇宅矢くん(2年・函大付属有斗高校)

市・函館雇用創造促進協議会が主催、函館大学が運営するという形でスタートしています。函館雇用創造促進協議会は産学官七団体が構成されていますが、函館大学は教育機関としては唯一参加しています。

「函館・精鋭塾」は函館市が厚生労働省から助成を受けている雇用創造促進事業の一環として採択されたもので、若手企業経営者の能力開発、起業家養成を目的としたセミナー事業です。年間十八回にわたるセミナーのプログラム作成や、学内外からの講師派遣を本学教員が担っています。年間三十人前後の若手経営者が受講し、今年で三年目を迎えています。

またクリスマスファンタジーにおける観光リサーチや、福祉用具の使用状況やあり方についてのアンケート調査なども実施しています。

そのほか、行政の各種審議会や産学官連携組織への教員派遣、観光や事業の調査なども行い、地元経済界に結果を報告するなどのプロジェクトも進んでいます。

地元経済へ寄与する産学官連携は、ここに集約されます。

若い世代で函館にもう一度活気を



若松屋常務取締役 中野 拓さん

函館・精鋭塾を第1回から受講している中野さん。「著名な人による経営セミナーなどにも多く参加してみたのですが、函館の実状とは少し違うという気持ちを持っていました。この函館・精鋭塾は、地元の企業人や大学教員らのお話なので、実感しながら聞くことができます。非常に参考になりますね。大きな企業誘致も大切だけれど、函館の街で育てられてきた企業を、我々のような二世、三世の世代が盛り上げていくことの方が重要だと感じています」。



函館市の雇用創造促進事業の一環である「函館・精鋭塾」

開かれた大学

住民の意欲に応えるべく学習機会を提供
そしてその成果を社会へ還元する

函館大学はこれまで公開講座をはじめ、図書館の開放、聴講生制度・科目等履修制度など、広く学生以外にも教養・知識を高めてもらうために、さまざまな学習機会の提供に努めてきました。

近年は、地域の高まる生涯学習意欲に応えるべく事業を展開しています。

その一つが、昨年六月に本学図書館内にオープンした「放送大学函館学習室」です。



昨年オープンした放送大学函館学習室

現在函館市及び近郊には放送大学登録者が約一五〇人いますが、家庭で放送授業を視聴できない人や再視聴したい人へのライブラリー無料貸出や、これまで札幌でしか実施されていなかった放送大学単位認定試験受験が、この「放送大学函館学習室」で可能となりました。

運営は放送大学北海道学習センターと函館市教育委員会の委託を受けて本学が行い、月曜を除く毎日午前十時から午後八時まで開放しています。夜間と土日とも利用できるとあって、六月から二月の九カ月間で延べ千人以上の利用者がありました。そのうち放送大学登録学生は三割強と、他の約七割が一般および本学学生であることから、まさに広く地域住民から利用されていることがうかがえます。

もう一つが「小学校英語指導者育成講座」の開催です。本学は、小学校英語指導者認定協議会から、関東以北では唯一、小学校英語指導者養成機関の認定を受け、小学校英語指導者養成講座を平成十六年度から開講しています。マニで所定のカリキュラムを修了すると、同協議

小学校英語を始めて



小学校英語指導者育成講座修了者 川合 園子さん

新年度より後志管内寿都町で小学校英語が始まりました。寿都町は小さな町ではありますが大変教育熱心な町で、小学校英語は小学校の先生やALTが行う町村が主ですが、後志管内で初めてJ-shine取得者の私と同時に修了した今泉はるかさんも採用されました。函館大学の講習では「英語は理屈ではなく、子どもが自然に英語に触れる場面を設定し、自然に英語に触れるか」ということを学びました。私は今まで公立高校で教壇に立っていましたが、教えていただいた先生方の温かいアドバイスを受け「小学校英語」に挑戦しました。導入に関しては保護者の期待や不安を肌で感じる一方、子どもたちの生き生きとした好奇心旺盛な反応に大きなやりがいを感じています。



幼稚園・小学校で英語指導活動をする函館児童英語研究会

学長インタビュー

地域のアカデミックの拠点として 存在感と信頼感に富む大学



学長 小笠原 愈

—まず、函館大学にとっての「社会貢献」の意義はなんですか。

小笠原 ●それは本学を「存在感と信頼感に富む大学に高める」ということです。この目的を実現するために、学生が満足を実感する学風を創る、そして教育事業の成果を発信する、の二点を行動指針にしています。教育事業の成果を発信することによって、本学の個性である社会貢献に創意を凝らす、あわせて地域の生涯学習機会の拠点になるといったことを、より具体化し明確化し地域の振興充実に資することが社会貢献事業の意義であります。地方の大学が生き残っていくためには、個性を明確にし、地域における存在感と信頼感を高めていかなければなりません。

—地域社会から函館大学に対して、どのような期待が寄せられていると感じていますか。
小笠原 ●函館は商業都市として発展してきましたから、まず地元からは、商学部を

—社会貢献事業によって、もちろん大学へもたらす効果も期待しているでしょうが、その点はいかがでしょう。

小笠原 ●本学の教員にとっても、自分の研究が地域経済の振興・充実に寄与しているという実感を抱けることは非常に重要です。その実感が、研究者として教育者としての質を、より一層向上させてくれると信じています。学生や地域の要望に応えるということは、すなわち顧客へ満足感を与えることで、それが本学への信頼感・存在感へとつながっていくのです。教員一人ひとりのパーソナルブランドを高めること、ここに期待します。

—高大連携事業では、新たな試みがされていますね。

小笠原 ●そうですね。青森商業高校と学生同士が共同研究を行ったように、商学部の特徴を生かした試みを、これからも進めていきたいと考えています。ここ二三年間、

高大連携を進めてきて痛感しているのは、大学初年時の大切さです。我々が一年次に用意したプログラムと学生意識の乖離が激しかったのです。そこで本学では一年次に基礎教育科目を設置し、一年次からのキャリア教育に取り組んだわけです。今後は教員同士が連携しながら、高校から大学へのつながりがよりスムーズに移行できれば、高校生の進学意識や進学後の目的意識が大きく変わってくると思います。

—「開かれた大学」という点では、学長はどのような大学をイメージされていますか。

小笠原 ●現在も一般開放している大学図書館で、多くの人が読書をしている姿。つまり、図書館が教養の泉のような存在ですね。そして、高度な学問欲求を持った人たちが、聴講生というだけでなく単位を取得する科目履修生として大学を利用したり、放送大学登録者が本学の特別聴講生となったり、公開講座、教養講座に参加したりと、まさに学生と地域の人びとが共に学修するアカデミックな存在になりたいですね。

—函館大学の社会貢献が、着実に進んでいるように思えますが。

小笠原 ●いえいえ、我々の社会貢献はまだ緒に付いたばかりです。一つひとつの事業が結実し、社会貢献の目的である存在感と信頼感につなげていくことが、これからの課題です。そして函館大学が、津軽海峡を中心とする地域社会にとってなくてはならない存在になろうと、今後も努力してまいります。

就職内定率九七・六%の高実績を確保 前年比五・四ポイントの大幅増

平成十八年度の就職実績は内定率九七・六となり、前年九二・二%から五・四ポイント増という大幅な増加実績を確保することができました。このことは、学生諸君が目的意識を明確に持って挑戦したこと、本学の卒業生がそれぞれの就職先で弛まぬ努力を重ねておられることが、本学の評価を高めてくれたこと、この結果であると考えます。まずは心から厚く感謝と御礼を申し上げます。

このような好結果を得られたのは、大都市圏を中心に底堅い景気回復感に包まれた中でのスタートであり、雇用有効求人倍率も平成十七年十二月時点で十三年ぶりに回復するなど明るい



就職部長兼キャリア開発センター長 教授 新谷 典彦

話題が相次いで報道されたこと、企業の求人数も平成十四年をピークに続いていた大学新卒者の採用抑制が積極採用に転じたことも、求人倍率を引き上げる要因になったようです。またその背景には、少子高齢化の影響で労働人口の減少や各年代層での労働人口比率の減少、景気回復によるリストラ者減少、団塊世代の大量定年退職予定者などの要因があると考えられます。

このような環境下で、本学ではキャリア開発センターを平成十八年四月に開設しました。その主たる目的は、学生一人ひとりが早くから自分の特性を見出し、適切な分野への進路選択ができるようにすること、入学から卒業まで一貫したキャリア・デザインの形成支援や、進



第1回キャリア講演会(本学卒業生 越石一彦氏)

路・就職相談業務を適切に遂行することにあります。そこでセンター内のレイアウトを工夫し、就職資料室の一角にカウンター式の机を配置し、学生がいつでも気軽に職員に相談できるようにしました。このことにより、就職相談の学生延べ人数が前年比三倍弱と大幅に増加いたしました。

キャリア開発センター開設から一年

早期からの就職意識向上に効果

平成十八年度に、これまでの就職課をキャリア開発課に発展的に改組し、生涯にわたるキャリアデザインの形成を、入学時から卒業まで一貫した指導を目的として「キャリア開発センター」を開設いたしました。就職指導と就職情報の拠点「キャリア開発センター」の一年間の動きを振り返ってみます。

一年時から 多彩な講座を展開

キャリア開発センターは、学生が日常的に資格取得や就職に関して相談しやすい環境をつくることも、学生自身が自分の将来像(キャリアデザイン)を早くから描きながら、それにもとづく進路選択や資格取得などの支援を四年間一貫して行うことを目的としています。

学生の就職意識やキャリア意識を高めるために、一年・二年生を対象にしたキャリア講演会や性格適性検査、SPI適性検査などを実施。昨年度は二回のキャリア講演会を実施しました。今年度も二回の開催を予定しており、一回目は本学卒業生を講師に招いてキャリア講演会を実施しました(前頁参照)。

三年次にはより具体的な就職



準備のための就職ガイダンスを、年間二十回開催しました。そのほかの就職支援としては、

一年目の 成果と今後の課題

公務員受験対策講座、就職合宿セミナー、就職模擬面接などを実施。資格支援講座としては、実用英語技能検定講座、就職特別講座などを展開しています。

キャリア開発センター初年度の成果としては、利用学生が前年度と比べ倍増したことがあげられます。これは学生に対してよりオープンな体制にしたこと、専攻塾、ゼミナール担当教員とセンター職員が連携し、学生一人ひとりとより積極的に関わった結果といえます。

キャリア開発センターとしては、今後のさらなる重点課題として学生のキャリア意識の早期の醸成と、基礎学力及び専門知識アップ。各種講座・講演会等による職業教育の強化があげられます。この二点を基盤として、学生の志向と企業の需要に沿った就職の実現、そして就職希望学生の完全就職をめざします。

平成18年度 進路状況

就職決定率 97.6%
(平成19年4月10日現在)

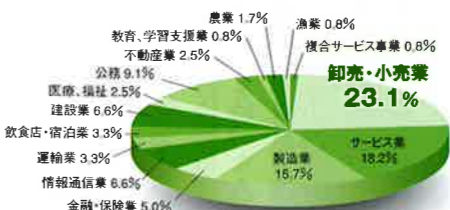


平成18年度 就職実績

地域別就職状況



業種別就職状況



従業員数別就職状況



昨年度実績の特徴としては、地域別では関東が四三・三% (前年五二%) と相変わらず強く、道内は三〇・六% (前年一八%) と大きく伸びました。これは道内企業の大学新卒者採用が回復したこと、学生の地元志向に合った結果といえるでしょう。また全国から集まっている学生のUターン希望に応じて、道内・

関東以外にも東北・中部・近畿・九州など広く就職先を確保しています。学生・教職員の努力とともに、日頃からの指導で習慣となつていく学生諸君の「明るい挨拶」が、各企業の人事担当者から高い評価をいただいていることも好結果に結びついていると考えます。

制服を着れば私も社員と同じ プロ意識を持つことを実感できました



(株)JALスカイ函館にて三週間、インターンシップを体験させて頂きました。仕事内容は到着便手荷物照合と搭乗案内業務を主流に、航空・航空貨物の講義や管制塔見学等があり、社会人として働くことは非常に大きな責任が背後に伴っていることを学びました。状況はどうであれ、決められた確認を怠ることは、お客様や仲間、会社に多大な迷惑を掛けてしまうことへと繋がるため、緊張感のある中で仕事をする重要性を感じ、私も制服を着た時点でお客様からは同じ社員ということを常に頭に置き、与えられた仕事を慎重に丁寧に行うことを心がけました。

また、定時制・安心・安全性を念頭に、お客様へのサービスを追求し続け、何よりチームワークの大切さを熟知し、仕事に対してのプロ意識の高さに感銘を受けました。

このような貴重な体験をさせて頂き、感謝申し上げますと共に、多くの学生が自己向上のためこのインターンシップ制度を活用し、少しでも社会とは、仕事とはということを考えるきっかけになってほしいと思います。



林 良美さん
国際コミュニケーション専攻塾(4年)
(北海道・遺愛高等学校出身)



派遣の期間はいつでしたか。
 坂野 ● 昨年の九月から今年の一月まででした。
 浜海学院では、実際に教壇に立つて中国人学生に教えたのですか。
 坂野 ● はい。函館大学と南開大学浜海学院の姉妹校提携の中に、研究成果や学術情報の相互提供という項目があり、その一環として南開大学浜海学院の日本語教育に協力するというのが今回の目的でした。南開大学浜海学院に日本語科があり、そのクラスで日本語の授業を受け持ったわけです。



准教授 坂野 学

中国・南開大学浜海学院へ派遣されていた坂野学准教授が帰国

函館大学の海外姉妹校の一つである、中国・南開大学浜海学院との教育交換・交流事業の一つとして、教員の海外派遣を函館大学としては初めて行いました。五カ月間の中国派遣を終え帰国した、坂野学准教授にお話をうかがいました。

授業は日本語で行ったのですか。
 坂野 ● ええ、クラスによって違いはありますが、日本語の習熟度の高いクラスはほとんど日本語で、習熟度の低いクラスは日本語と中国語を半々に、と考えて授業をしました。
 ただ、日本語のテキストが非常に高度なことに驚きましたね。日本の大学生にとっても高レベルでした。それについてどう思うのですか。
 学生はみな必死で真面目に勉強していましたね。
 坂野先生は、中国文学などご自身の研究をする時間はありませんでしたか。
 坂野 ● いえいえ。そのつもりだったので、授業で書かせた学生の作文の添削で、ほとんどの週末がつぶれました。ですから、プライベートで天津を楽しめる時間も、ほとんどなかったですね。
 でも天津は、市内人口で約五百万人、来年行われる北京オリンピックの競技会場にもなっている大都会です。日本のそうそうたる企業も進出していますし、そうした急速な経済発展も、日本語教育熱に反映しているのかもしれないですね。
 五カ月間の中国赴任を終えて、いま思っていることは何ですか。
 坂野 ● これまで南開大学浜海学院の教員が函館大学に来たことはありましたが、函館大学から中国へは今回が初めてでした。こうした相互交流を一つずつ実践していくことが大事だと思いますし、学生の交換留学へ発展させていければ望ましいと思います。本学の学生にも、もっと中国に関心を持ってもらって、ぜひ中国語も学んでくれると嬉しいですね。



中国・南海大学浜海学院での坂野先生(中央)

南開大学浜海学院



天津市市区から34キロ郊外に立地。2004年に南海大学(本学姉妹校)と天津市との提携により開設された南海大学の独立学院です。8学部15学科を設置し、67万平方メートルの敷地を擁する大学です。本学とは2005年3月に姉妹校提携を結びました。

今春社会へ巣立った卒業生

野村証券函館支店入社

中塚 文代さん(北海道有朋高校出身)

情熱をぶつけてみて!



私は就職活動をするにあたって、大切にすることがあります。それは受験する会社に本気で惚れること、そして情熱を伝えることです。

私は第一志望の会社に内定をいただき、この春から働いています。正直、疲れるなあと感じるのですが、

本気で挑もうと決めた会社なので、これから先も何とか乗り越えていけると信じています。

後輩の皆さんにアドバイスがあるとすれば、やる気や情熱は必ず採用担当者に伝わるといえることです。ですから本気で「この会社が好きなんです!私を採用してください!」と、素直な情熱をぶつけてみてください。その想いが伝わるかもしれませんよ。

正々堂々と本当の自分を見つけて、真剣勝負してみてください。応援しています。

スターゼン(株)入社

川添 博司さん(熊本国府高校出身)

社会に出ても基本は挨拶や人間関係



大学のハンドボール部の先輩も入社しているということもあって、この会社を選びました。入社する前は当然業界の専門知識などなく不安でしたが、今はそれが当然と思っ

すべてが教えられているという気持ちで仕事をしています。

私は故郷に近い大分営業所に赴任しましたが、ここは全国の営業所の中でも上位の売り上げを誇る営業所で、厳しい環境ですが日々自分が成長していることを実感しています。

社会に出たら、それまで経験したことのないくらいの挫折感や辛さを味わいます。しかし、それを乗り越えるのも、学生時代に自分はこれだけ頑張ったんだという経験です。社会に出ても、基本は挨拶や人間関係の作り方だと思います。ですから、大学生活を大いに学んで、大いに遊んでください。

キャリア講演会より

4月1日に行われた今年度の第1回キャリア講演会は、本学卒業生である越石一彦氏を講師に招いて行いました。越石さんから、後輩たちへ寄せていただいたメッセージを紹介します。

『函大生の誇りを胸に!』 越石一彦さん(昭和63年卒)

現在、私は(株)クライアントサイド・コンサルティングという、経営コンサルティング及び企業研修を中心とする会社を営んでいます。

私も山一証券、メリルリンチ日本証券とサラリーマン人生を歩んだ後、七年前に独立しました。

サラリーマン時代、お客様から「越石さんほどこの大学を出られたの」と聞かれることが度々ありましたが、私はいつも胸を張って「函館大学です!」と元気よく答えていたのを今でも覚えています。

そして必ず大学で得た、たくさんの報酬の話をしました。勉学はもちろん硬式野球

部で得た体力、精神力、心から尊敬する師や心友のこと...それを聞いて、「本当にいい大学でいい学生生活を送ることができたんだね」と言われたものです。

ビジネスには心・頭・体であると私は考えます。やる気、知恵、行動力、それをすべて学生時代から意識して生活することが重要です。

函大生の誇りを胸に、社会に出てきてください。

越石さんの著書 ▶



越石一彦さん

昭和63年 函館大学卒
 同年 山一証券株式会社入社
 平成10年 山一証券株式会社廃業に伴い、株式会社メリルリンチ日本証券へ移籍。(池袋支店においてファイナンス・コンサルタントとしてトップの成績を上げる)
 平成13年 同社退社、株式会社クライアントサイド・コンサルティングを設立、代表取締役社長に就任。
 [著書] ビジネスで成功する決め手は、パーソナルブランド - 山一証券廃業からの脱却 (ゴマブックス出版) しあわせ波動発信企業 (アチーブメント出版)

函館大学へのアプローチ

図解

入試制度

アプローチはいろいろ 多様な入試制度を用意

函館大学では、学びたいという意欲を持った若者に、広く入学の機会を与えるために多彩な入試制度を用意しています。高校生の受験においては、基本的にAO入試、試験入試、推薦入試の三つがあります。それぞれの特長を見てみましょう。また、編入学入試、社会人入試もあります。

AO入試

面談を重ねながら、本学の教育内容と本人の希望をすりあわせ、十分に納得したうえで入学してもらうことを目的とした制度です。日程を3期に分け、受験のチャンスを広げています。



試験入試

学科試験は、6科目から2科目を選択します。簿記も選択できるので、商業科の生徒も受験しやすくなっています。また、得点によっては特別奨学生としての特典を付与します。



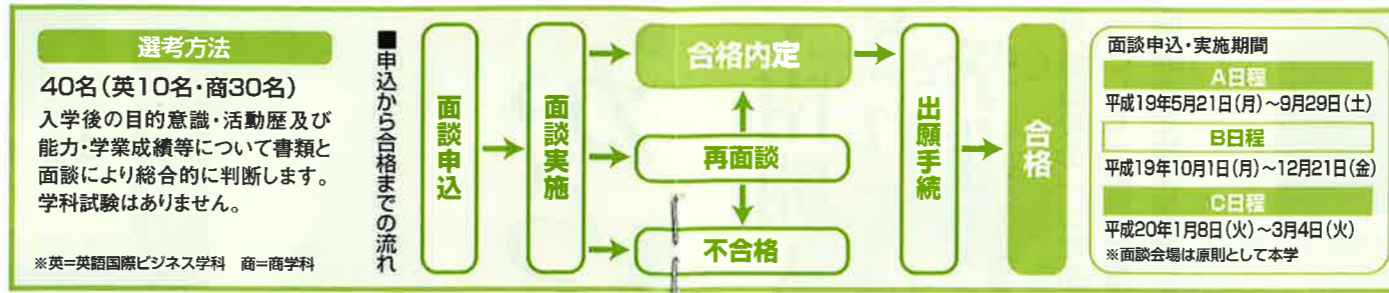
センター試験

平成20年度大学入試センター試験を受験してください。センター試験成績および調査書を総合して合否を判定します。



推薦入試

指定校推薦、一般推薦の他に、商業科などの専門学科や総合学科の推薦枠も設けています。調査書および面接の結果を総合して合否を判定します。(学科試験免除)



選考方法	A日程	特典区分
40名(英10名・商30名) 入学後の目的意識・活動歴及び能力・学業成績等について書類と面談により総合的に判断します。学科試験はありません。 ※英=英語国際ビジネス学科 商=商学科	出願期間 平成19年10月5日(金)~19日(金) 試験日 平成19年10月24日(水) 合格発表日 平成19年11月5日(月) 試験地 本学・青森	特別奨学生1種 入学金全額及び授業料全額給費(4年間の給費額総計367万円)(初年度15万円+88万円=103万円)
63名(英15名・商48名) ・学科試験(2科目選択) 国語(国語総合<古文・漢文除く>・現代文) 英語(英語I・II、リーディング、ライティング) 日本史B 世界史B 政治・経済 簿記 調査書 健康診断書(1浪までは不要)	B日程 出願期間 平成20年1月8日(火)~24日(木) 試験日 平成20年2月1日(金) 合格発表日 平成20年2月15日(金) 試験地 本学・札幌・青森・仙台	特別奨学生2種 入学金全額及び授業料半額給費(4年間の給費額総計191万円)(初年度15万円+44万円=59万円)
特別奨学生選考 特別奨学生の希望者は、特別奨学生申請書を提出。学科試験終了後に面接あり。 ※英=英語国際ビジネス学科 商=商学科	C日程 出願期間 平成20年2月18日(月)~3月4日(火) 試験日 平成20年3月7日(金) 合格発表日 平成20年3月14日(金) 試験地 本学・青森	特別奨学生3種 入学金全額給費 15万円(入学時)<希望者貸与>50万円×4年間 ※貸与分のみ返済義務あり
		特別奨学生4種 入学金全額給費 15万円(入学時)<希望者貸与>30万円×4年間 ※貸与分のみ返済義務あり ※別途、施設設備費24万円を負担いただきます。

選考方法	A日程	試験科目
12名(英5名・商7名) ・平成20年度大学入試センター試験成績(2教科2科目選択。ただし、同一教科からの2科目選択は不可) ・調査書 ・健康診断書(1浪までは不要)	出願期間 平成20年1月8日(火)~1月31日(木) 試験日 本学の個別試験は実施しません。 合格発表日 平成20年2月15日(金) 入学手続締切日 平成20年3月3日(月)	国語 国語(近代以降の文章) 地理歴史 世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B 公民 現代社会、倫理、政治・経済 数学 数学I、数学II、数学A、数学B、数学I・数学II、数学A・数学B、工業数理基礎、簿記・会計、情報関連基礎 理科 理科総合A、理科総合B、物理I、化学I、生物I、地学I 外国語 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語
※英=英語国際ビジネス学科 商=商学科	B日程 出願期間 平成20年2月18日(月)~3月4日(火) 試験日 本学の個別試験は実施しません。 合格発表日 平成20年3月14日(金) 入学手続締切日 平成20年3月27日(木)	2教科2科目選択(同一教科からの2科目選択は不可)

指定校推薦入試 50名(英10名・商40名)	一般推薦入試 20名(英5名・商15名)	専門学科・総合学科推薦入試 10名(英3名・商7名)
選考方法 ・本学が指定する高等学校等の学校長推薦書及び調査書 ・面接	選考方法 ・高等学校等の学校長推薦書及び調査書 ・面接	選考方法 ・高等学校等の学校長推薦書及び調査書 ・面接
条件 ・現役または1浪まで	条件 ・調査書評定平均値3.0以上(課外活動等業績評価制度適用者は2.7以上) ・現役または1浪まで	条件 ・調査書評定平均値3.0以上(課外活動等業績評価制度適用者は2.7以上) ・現役または1浪まで
特典 〈特典1種〉・入学検定料3万5千円免除 ・授業料のうち年額40万円給費(4年間)(但し、調査書全体評定平均値4.0以上) 〈特典2種〉・入学検定料3万5千円免除	特典 ・授業料のうち年額40万円給費(4年間)(但し、調査書全体評定平均値4.0以上で、かつ専門学科出身者は専門教科の評定平均値4.0以上)	特典 ・授業料のうち年額40万円給費(4年間)(但し、調査書全体評定平均値4.0以上で、かつ専門学科出身者は専門教科の評定平均値4.0以上)
A日程 出願期間 平成19年11月1日(木)~16日(金) 試験日 平成19年11月22日(木) 合格発表 平成19年12月3日(月) 試験地 本学、札幌、青森、仙台、東京	A日程 出願期間 平成20年2月18日(月)~3月4日(火) 試験日 平成20年3月7日(金) 合格発表 平成20年3月14日(金) 試験地 本学	A日程 出願期間 平成19年11月1日(木)~16日(金) 試験日 平成19年11月22日(木) 合格発表 平成19年12月3日(月) 試験地 本学、札幌、青森、仙台、東京
B日程 出願期間 平成20年2月18日(月)~3月4日(火) 試験日 平成20年3月7日(金) 合格発表 平成20年3月14日(金) 試験地 本学	B日程 出願期間 平成20年2月18日(月)~3月4日(火) 試験日 平成20年3月7日(金) 合格発表 平成20年3月14日(金) 試験地 本学	B日程 出願期間 平成20年2月18日(月)~3月4日(火) 試験日 平成20年3月7日(金) 合格発表 平成20年3月14日(金) 試験地 本学
※英=英語国際ビジネス学科 商=商学科	※英=英語国際ビジネス学科 商=商学科	※英=英語国際ビジネス学科 商=商学科

来年度入試から「大学入試センター試験」に参加! 全国の高校生へ受験機会を拡大

毎年開催しているオープンキャンパスは、好評をいただいております。昨年は3回の開催で約170人の参加者がありました。本学のオープンキャンパスは大規模大学の入退場自由制と異なり参加者を4、5人のグループに分け、それぞれのグループごとに教職員が担当して、大学の説明から入学相談までを行っています。入学希望者一人ひとりに、よりきめ細かく対応することを目的に行っていますが、結果としてオープンキャンパス参加者からの入学者が大きく増え、今後もこの方式を取っていく予定です。



入試部長・准教授 松 喜美夫

来年度入試から大きく変わる点は、本学でも大学入試センター試験に参加(センター試験利用入試を導入)することです。センター試験に参加することによって、全国どこからでも受験できるようになり、受験生の受験機会が拡大すること、受験料が安価になるなどというメリットが生まれます。さらに本学ではセンター試験受験者の場合は、受験科目中、高得点だった2科目の総合点で判定(ただし、同一教科からの2科目選択は不可)するという方式を取りますので、受験生にとっては得意科目で受験できることとなります。これまで以上に、入学希望者が受験できる環境が整備されたと言っていると思います。

社会人入試 5名(英2名・商3名)

選考方法
・志望理由書
・調査書(または出願資格を証明するもの)
・健康診断書・面接

日程
出願期間 平成20年1月8日(火)~1月24日(木)
試験日 平成20年2月1日(金)
合格発表日 平成20年2月15日(金)
入学手続締切日 平成20年3月3日(月)

※英=英語国際ビジネス学科 商=商学科

編入学試験 若干名

選考方法
・小論文・健康診断書(平成19年3月に高等学校を卒業した者は不要)
・面接

A日程
出願期間 平成19年10月5日(金)~10月19日(金)
試験日 平成19年10月24日(水)
合格発表日 平成19年11月5日(月)
入学手続締切日 平成19年11月19日(月)

条件
・3年次編入の場合60単位以上
・2年次編入の場合30単位以上
※他の4年制大学に1年以上在学した者
・短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程卒業生は3年次編入

B日程
出願期間 平成20年1月8日(火)~1月24日(木)
試験日 平成20年2月1日(金)
合格発表日 平成20年2月15日(金)
試験地 平成20年3月3日(月)

北海道函館中部高等学校

私の母校・中部高校は創立百十二年で、亀井勝一郎など多くの有名人を輩出しています。実は、函館大学の教職員の中にも卒業生がたくさんいます。「自由な校風」が特徴で、個々の個性を遺憾なく発揮できます。「文武両道」の精神に基づき、勉強はもちろんのこと、学校行事や部活動にも一生懸命取り組んでいます。



島香 奈未さん(2年)

学校行事では、白楊祭が最

大のイベントです。中でも、パフォーマンス発表は、中部ならではの思いです。音楽編集、振り付け、衣装製作など、すべて自分たちで行います。準備期間は大変なことも多いですが、本番で成功した時の達成感ほたまりません。



「白楊」の文字に受け継がれる百十余年の歴史
明治28年開校。函館尋常中学校、旧制函館中学校を前身とする。110年以上の歴史のなかで数々の著名人を輩出し、亀井勝一郎(評論家)、今日出海(作家)、長谷川四郎(作家)、久生十蘭(作家)など蒼々たる顔ぶれが並ぶ。「白楊」とはポプラの木を意味し、校庭には「白楊魂」と刻まれた石碑があり、自由な精神が「函中」の伝統として脈々と受け継がれている。

北海道函館中部高等学校 創立:明治28年
北海道函館市時任町11番3号
TEL. (0138) 52-0303 FAX. (0138) 52-0305

また、文部科学省から「スーパー・イングリッシュランゲージ・ハイスクール」の研究指定校として指定を受け、英語教育の向上のために様々な新しい教育活動を展開しています。中部高校で学んだ事はとても多く、大切なものばかりです。それらを生かし、これからも頑張っていきたいと思えます。

横浜創学館高等学校

私の母校である横浜創学館高校は、平成十五年に横浜商工から教育課程の一新に伴い校名を変更し横浜創学館になりました。校訓は「恒心ゆるぎなく正しい心」で、欲を捨て、人のために奉仕する人となれという意味です。創学館では校歌が他校とはひと味違います。まず、校歌とは言わずに愛唱歌と言っています。それは詞・曲を歌手の小田和正さんに作ってもらい、小田和正さんがこの歌を学校だけではなく一般の人にも歌ってほしいと言ったことで愛唱歌



坂田 遼くん(3年)

と言っています。この歌を全国の人に聴いてもらえるように、野球部の後輩達には甲子園に出場し歌ってほしいと願っています。高校で学んだことや、皆さんの思い出を大切に、これからの大学生活を送りたいと思っています。

横浜商工から平成十五年に校名変更



前身の横浜商工から平成15年に校名変更。普通科、科学技術科、情報経済科の3科を持ち、それぞれの科でも進路希望に合わせたコースが設定されている。多様なコースは、「個」の価値観に個性の応じた教育を実践するという方針からつくられた。校訓は「恒心…ゆるぎなく正しい心」。恒心とは、正しさを守る不変の道徳心のこと。教育目標に共生力、表現力、創造力の育成を掲げる。

学校法人翔学園 横浜創学館高等学校 創立:昭和33年
横浜市金沢区六浦東1丁目43番1号
TEL. (045) 781-0631 FAX. (045) 781-3239

出身校紹介

北から南から

札幌静修高等学校

私の母校・札幌静修高校は大正十一年創立の歴史ある高校です。

現在は普通科と国際科があり、国際科では海外姉妹校四校と相互留学や語学研修などを行い、国際交流に力を入れています。普通科には特進コースと総合コースがあり、総合コースでは二年時から目標に応じたカリキュラム分けがされます。私は看護進学型でしたが、救急救命講習やふれ



和田 愛美さん(4年)

あい看護体験といつて実際に数日間病院で体験実習を行い、貴重な体験をすることができたと感じています。この高校で過ごした三年間は、私にとって何物にもかえがたい大切な思い出です。たくさん

さんの友人、恩師に囲まれ、多くのことを学び教えていただきました。これから学んできたこと、これからの希望を胸に抱き、充実した日々を過ごしていきたいと思っています。

進路に対応した普通科と進取の国際教育



「静修」は「静以修身 檢以養徳」(心を清くして身を修め、身を引き締めて徳を養う)という、中国の三国時代の宰相・諸葛孔明の教えに由来している。大正11年創立、以来女子高校としての歴史を歩んできたが、平成11年から男女共学。平成4年に北海道初となる国際科を設置。国際科は英語の他に、ドイツ語・ハンガール・中国語が選択できる「第2外国語」や「国際文化」といった独自の科目を組み、ユニークな教育を実践している。

札幌静修高等学校 創立:大正11年
札幌市中央区南16条西6丁目2番1号
TEL. (011) 521-0234 FAX. (011) 511-9008

青森県五所川原第一高等学校

私の母校、五所川原第一高等学校は総合コース・情報コース・進学コース・特別進学コースの四コースがあります。

進学、就職とも九〇%以上の実績です。合い言葉は「燃える進学教育 燃える資格取得教育」で、生徒一人ひとりが自分ができるべきことと向き合い、先生と共に「つひつこ」なしていきます。

部活動にも力を入れていきます。文化部では津軽三味線部が有名で、さまざまな場で演奏し賞も取っています。運動



七戸 梢さん(3年)

部では剣道部、少林寺拳法部が特に有名で、剣道部では個人で国体出場、少林寺拳法部も全国大会優勝常連校の実績を残しています。自分の可能性を広げ、仲間も輪も広げられる高校です。

大目標は青森県第一の高校になろう



普通科、男女共学の私立校。校訓は「明明」「協調」「進取」。普通科のなかに特別進学コース、進学コース、情報コース、総合コースがあり進学、資格取得に独自のプログラムを組み支援している。大目標に「青森県第一の進学校になろう」「青森県第一の資格取得校になろう」を掲げているとあり、毎年着実に進学・資格取得実績を伸ばしている。

学校法人館田学園 五所川原第一高等学校 創立:昭和23年
青森県五所川原市元町42
TEL. (0173) 34-2347 FAX. (0173) 35-7829

親・教師は子どもの伴走者

滝川の小学六年生が自殺して「いじめ」が社会問題になりました。教室の教師用の机には七通の遺書があり、お母さんに宛てた遺書には「迷惑をかけてごめんさい」と書かれていました。その子はどんな想いでその遺書を書き、自殺当日の朝どんな想いで家を出て学校に向かったのでしょうか。まだ小学六年生です。これからのいろいろな素敵な人生があったらうに…。

小学校低学年なら「〇〇ちゃんにいじめられた」とすぐ言えますが、成長するに依りて言えなくなりません。自尊心が芽生え、学級の中では邪魔者扱いされている自分を責めるからです。親にはいじめられている自分のことを知られたくないのです。いじめが深刻化すると「自分はダメな人間なんだ」、「存在しなくてもいいんだ」と孤立感をさらに深めていきます。いじめは親さえも気付かないまま進行し、自殺に追い込んでしまいます。

いじめは学校で起こります。滝川の教育委員会、学校の対応もお粗末でした。教師にはいじめ発見ばかりでなく、子どもの心の微妙な変化に気付く察知能力が必要なのです。滝川の小学生の自殺は防げたのではと強く思います。人生をマラソンに例えるならば、子どもたちは問題を起こしたり、失敗をしたり、悩んだりしながら、途中で休憩や寄り道をしています。親や教師は子どもの伴走者として、励ましたり、喝を入れたり、おだてたり、慰めたりしな

ければなりません。そんな中で、伴走者である親や教師は、状況を冷静に判断し、走者に総合的な力を発揮させる存在なのです。子どもたちは集団の中で、ケンカをしたり、助けられたり助けたりしながら人間関係を学んでいきます。これらは子ども時代に身に付けなければならぬ課題なのです。親や教師は、失敗を成功のチャンスととらえるだけの余裕を持つて子どもと接しなければなりません。

子ども自身が解決すべき問題を、親が先取りしてはいけません。最近、自中心的な親が増えていきます。「自己」ではなく「自己」です。担任との折り合いが悪いと「すぐに担任を変える」と校長室に乗り込んで行ったり、子どもの成績が悪いと「教師の教え方が悪い」などなど。親が自中心に陥ってしまったとき、必ずそのしわ寄せは子どもの成長の中で、大きな問題として親に跳ね返ってきます。このような親は、いい伴走者とは言えません。

子どもが現実と対峙できる自分になること、今、嫌なことから逃げない自分になるような家庭教育、学校教育が、伴走者の仕事です。直面する問題、課題をしっかりと受け止め、向き合うことにより、たくましい心が育ちます。人間は失敗や挫折を繰り返しながら成長していく。そう考えると、ピンチは成長のための贈り物なのです。今日の青少年の問題は、我々、大人が子どもを育ててきた結果なのです。みなさんは、どんな伴走者になりますか。



専任講師 金山 健一
(心理学・教育心理学)

クラブ活動も盛んな函大では、 たくさんさんのクラブが活躍しています。

函大を元気にしてくれる、元気なクラブの話題をお届けします。

二〇〇六年度函館市スポーツ賞を受賞 ボウリング部男子チーム / 少林寺拳法部 上山・佐藤組

函館市が毎年、地元スポーツの普及発展への功績や、全国規模の競技大会で優秀な成績を収めた個人・団体を讃える「函館市スポーツ賞」。〇六年度は九個人、三団体を選ばれ、その中で函大からボウリング部男子チームと、少林寺拳法部の上山・佐藤組の二組が受賞しました。



表彰式でのボウリング部西村淳監督と上山さん・佐藤さん

ボウリング部男子チームは、昨年十一月に行われた第四回全日本大学ボウリング選手権大会で準優勝。前年の大会における念願の初優勝に続いての好成績が、高く評価されたようです。

ん、宮川裕充くん、庄司貴一くん、松尾弘幸くん、立和田充志くん、三年生の鈴木亮平くん、千葉達也くんの七人。少林寺拳法部の二人組は、上山清美さん(四年・大阪福島女子高校出身)と佐藤智恵さん(三年・新潟県新津南高校出身)。上山・佐藤組は昨年十月に開催された少林寺拳法全国大会in北海道における一般女子三段以上の部で優勝したことが今回の受賞につながる



少林寺拳法部上山清美さん(右)と佐藤智恵さん(左)



ボウリング部男子チーム

の部で七戸梢さん(三年・青森県五所川原第一高校出身)とペアを組み三位入賞と活躍。毎年大きな大会で好成績を残しています。二月二日に行われた表彰式には、ボウリング部を代表して監督の西村淳准教授と、上山さん・佐藤さんが出席。華やかなセレモニーの中で表彰状を受けました。ボウリング部、少林寺拳法部のこれから続く人たち、そしてより多くのクラブがこの場に立てるよう一層の活躍を期待したいですね。

ボウリング部

ボウリング部男子チーム準V
個人選手権では鈴木大介くんがV

「函館市スポーツ賞」を受賞したボウリング部男子チーム。全日本大学ボウリング選手権大会で惜しくもV2を逃がした戦いを振り返ってみましょう。

昨年十一月に東京で行われた第四回全日本大学ボウリング選手権大会、昨年度産業大学の十三連覇を阻んで初優勝、今回V2の期待がかかった大会でした。



写真提供：函館新聞社 個人選手権優勝の鈴木大介くん

しかし、予選で本来の力を発揮できず、予選終了時点でトップと五〇〇ピン差以上と大きく出遅れまして。この日の夜は、主将の鈴木大介くん(今春卒業)を中心にメンバーたちで自主的にミートイングを開き、気分を切りかえたそうです。

そして臨んだ決勝戦では、メンバー一人ひとりが本来の力を発揮し、一人あたりの平均アベレージが二四四というハイペースで追い上げましたが、最終的にはトップに七ピン差まで追いつけるといふ猛追を見せました。七ピン差は一人が一回スベアを取れば逆転できたピン差でした。

ハンドボール部

ハンドボール部二百連勝達成
リーグ戦は四一連覇!



選手、スタッフが一体となって日々励む

西村監督は「全員が力を出し切ってよく七ピン差まで追い上げた。これで前年の優勝がまぐれではないことを証明できた」と選手たちの健闘を讃えています。

この団体戦のあと、今年二月に第三八回全日本大学個人ボウリング選手権大会が開催され、鈴木大介くんが優勝。つまりボウリングの大学生チャンピオンに輝いたというわけです。

団体戦でのV奪回、そして先輩に続いての学生チャンピオンという、新たな目標に向かって、今年のボウリング部も練習に励んでいます。

ハンドボール北海道学生リーグで、昨年の秋季リーグも全勝し連勝を一九九(一分けをはさむ)まで伸ばしていた函大ハンドボール部が、今年の春季リーグで二〇〇連勝を達成。春のリーグ戦ももちろん全勝し、連勝を二〇四までのびました。リーグ戦連覇も四一にのび、昭和六一年の秋季リーグから、二十周年間負け知らずの記録を続けています。

毎年メンバーの替わる学生スポーツで連覇を達成するのは難しく、その中で二十周年間負け知らずというのは、まさに偉業というしかありません。

しかし、全国大会ではいまだ二回



写真提供：函館新聞社 リーグ戦41連覇、204連勝と記録を伸ばしたハンドボール部

戦どまりで、松喜美夫監督(准教授)は「北海道での優勝は通過点目標はあくまでも全国大会での勝利」と、インカレを目標に置いています。

昨秋の二十連覇に対し、函館市体育協会が有賞が贈られ一つの区切りを迎えた函大ハンドボール部。新たなスタートの気持ちで、記録挑戦をさらに続けていくことでしよう。

函大♥ガールズ

函大♥ガールズが、ツリーコンテストで二位



日野隆生准教授

「函館の冬のイベントと言えば「はだだクリスマスツリー」。「はだだクリスマスツリー」が有名ですが、港付近では市民が飾る手作りのクリスマスツリーを競い合うクリスマスツリーコンテストが行われています。

このコンテストに、日野隆生准教授が女子学生に呼びかけ、三年前から参加しています。昨年集まったメンバーは、三年生と一年生の六人で、チーム名は「函大♥ガールズ」。会場を訪れた市民や観光客の投票で決まるこのコンテストで、昨年は二位に輝きました。初めて参加した三年前は五位、一昨年は三位、そして昨年の二位と成績が年々上位に。昨年のクリスマス時期は、函館でもほ

まざまま形で参画している日野先生は、「クリスマスツリーコンテストには、学生が英語などいろんな形で参加しています。このように地域のイベントに学生が積極的に参加することが生きた勉強になる」と語っていました。

さて、マーケティングが専門で函館市のまちづくりに関してさまざまな形で参画している日野先生は、「クリスマスツリーコンテストには、学生が英語などいろんな形で参加しています。このように地域のイベントに学生が積極的に参加することが生きた勉強になる」と語っていました。

硬式野球部

めざせ神宮大会!
函大野球部球援会が誕生

函大野球部は、これからが楽しみです。大学野球神宮大会に出場した昭和五三年以来、長く低迷が続いていましたが、近年めきめきと実力をつけています。今年、甲子園経験者を含む三三二人の新入部員が加わり合計六四人。ポジション争いはおろかベンチ入りするだけでも熾烈な状況となっています。

そんな函大野球部に「二九年ぶりの神宮大会出場」を期待する声が高まり、OBが中心となって「函大野球部球援会」が誕生しました。昨年八月に約五〇人の会員でスタートし、今や一〇〇人を越えて増え続けています。球援会会長に就任したのは、函大第一期卒業生でもある松倉清治さん(会社役員)。松倉さんは球援会立ち



函大野球部球援会会長の松倉さん

上げの動機について、「阪内監督が就任して、とにかく監督の熱意を応援したいという人が増えてきました。函大の活躍で大学野球が注目されるようになれば、必ず高校野球や社会人野球にもいい影響となって、函館の野球ももう一度盛り上がるはず」と語っています。

「函大の野球部員は、隠れた逸材も多々います。ここで才能を開花させれば、チームがリーグ優勝、神宮大会も決して夢ではない」と言葉にも熱がこもります。

球援会としては、まず試合にできるだけ多く駆けつけることを応援の第一にして、今年は球援会揃いの帽子を作りました。さらに選手のプロフィールやリーグ戦での成績などをプリントにして発行したり、メールで配信することも計画中。また会員の年会費は、積み立てて用具や施設の充実などに充ててもらう考えです。

今年で就任四年目を迎えた阪内俊喜監督は「OBや函館市民が広く集まって応援していただき、本当にうれしく思います。リーグ優勝も十分狙える戦力なので、



有望新人が加わり戦力アップした函大硬式野球部

ぜひ期待に応えたい」と静かな闘志を燃やしています。

球援会に入会を希望される方は球援会事務局・電話〇九〇・九〇八六・四〇一三(樋口)までお問い合わせください。

函館大学主催の第一回 高校生英語スピーチコンテスト

函館大学では、英語国際ビジネス学科の教育事業の一環として、初の高中生英語スピーチコンテストを昨年十月二十一日に開催しました。コンテストは函館近郊および青森県内の高校生を対象に「青函圏の夢」というテーマで、五分間の英語スピーチを競い合いました。

録音テープによる予選審査を経て、本選には八人の高校生が出場。本学教授の高月晋先生を審査委員長に、審査基準は内容四割、英語三割、話しぶり三割。結果、最高位に当たる学長賞に見事輝いたのは、函館白百合高校三年の岡崎史織さん



函大主催の高校生英語スピーチコンテストで学長賞に輝いた岡崎史織さん

岡崎さんは「私の夢は戸井と大間の間をゴンドラでつなぐこと」といった内容を流暢な英語で語り、聴衆を感心させました。それもそのはず、岡崎さんはアメリカ・カリフォルニアで生まれ十歳で帰国、その後函館で暮らしています。

英語スピーチコンテストは、多くは帰国子女の参加を認めていません。岡崎さんは以前から一度参加してみたいと思っていたところ、「函館大学のは帰国子女でもOKだったので、すぐに応募しようと思った」そうです。岡崎さんは英語スピーチよりも「原



高校生英語スピーチコンテスト

稿内容を担任の先生にぜひぶん指導してもらった」と言います。でも当日は「ほかの高校生も英語がとても上手だったので、負けられないと燃えました」とのこと。

さて、岡崎さんがスピーチで述べた「ゴンドラでつなぎたい」とは、日本に来て初めてスキーをしたときに乗ったゴンドラがとても思い出に残っているようで、そのゴンドラに乗って海峡を渡ってみたいと思ったそうです。「函館は四季がはっきりしていて大好きです。春の桜から秋の落ち葉、冬の雪、みんな大好きです」と、いまではすっかり函館っ子になったようです。

岡崎さんのほかには下中由有紀さん(函館白百合高校二年)、佐藤りづさん(函館中部高校・今春卒)の二人が市教委教育長賞を受賞しました。

鈴木将之くん(四年)が 英検、TOEICダブル栄冠



英検、TOEICで目標を達成した鈴木将之くん

鈴木将之くん(四年・函館東高校出身)が、今年の初めに英検準一級合格と、TOEIC 800点以上という目標をダブルで達成しました。

鈴木くんは、高校二年で英検二級に合格。その後、函大に入学した後も準一級に挑戦を続け、四度目となった今年二月の受験で見事合格を果たしました。英検受験のひとつ月前の一月にはTOEIC 811点をとり、目標だった800点以上をクリア。鈴木くんの努力が一度に実を結んだ形となりました。

鈴木くんは、高校時代に本学の田中久講師から英語の個人レッスンを受けており、田中先生の勧めもあって函大で英語を中心に勉強しようとして入学。入学後も「田中先生には、大変お世話になり感謝でいっぱい」と言います。

鈴木くんの受験対策は、過去問題を徹底してやったことと、学内ではDonald・ミラー先生や、高月晋教授に面接指導等してもらったそうです。「ネイティブの先生や留学生たちと積極的に話したり、函館大学の英語を学ぶには素晴らしい環境を積極的に生かそうと思いました。次の目標は、英語の教師になることです」と、現在は教職試験に向けて猛勉強中です。

環境問題研究同好会が発足 一年目からがんばっています！

昨年の十月の学園祭で、榎本陽輔くん(二年・NHK学園高校出身)を中心に「環境フォーラム」を実施したメンバーが、このまま環境問題に取り組みようとして田部井教授を顧問に「環境問題研究同好会」を発足させました。



もっともっと部員を増やしたいと活動中

大学祭の「環境フォーラム」では、電気自動車の試乗会、教員と学生との環境問題発表会、函館市内企業の環境問題への取り組み紹介を行い、十一月には上磯海水浴場の清掃活動に参加、十二月には国際的な環境活動の一つ「チーム・マイナス6%」に参加し、勉強とともに活動を続けています。

会長の榎本くんは「環境問題に対して自分たちの知識や見聞を広げるとともに、より多くの学生に環境に対する意識を高めてもらいたい」と、活動の目的を語って

います。その一環として、現在学内の食堂や喫茶コーナーから出る使用済み割り箸を回収して、それを苦小牧の製紙工場に送り再資源化する活動を行っています。

今年に入ってから、四月二十二日のアースデーに合わせて行われた「アースデーはこたて二〇〇七」に参加。そして五月十日には、北海

それぞれの心に刻まれた貴重な学習 ボランティア体験報告会開催

函大では、社会性の育成を狙いとして、一・二年生を対象にボランティア体験を、授業の一環として行っています。このボランティア体験を、学生が発表しあう「平成十八年度ボランティア体験報告会」が、今年一月三十日に本学で行われ、今年二年生十七名、一年生九名がそれぞれ体験と、そこで学んだこと得たことなどを発表していました。

発表者を代表して、二人の学生に話を聞いてみました。高齢者施設でデイサービスボランティアを行った藤谷亮太くん(三年・函大付属

道地球温暖化防止活動推進員でもある函館ラ・サール高校のピーター・ハウレット先生を函大に招いての講演会・勉強会を開催しました。「自分は環境に配慮した生活が習慣になっているので、みんなも暮らしの習慣を見直してほしい」と榎本くんは願っています。



体験報告をした藤谷亮太くんと加我のどかさん

有斗高校出身)は、「一年生の時と同じ施設へお手伝いに言ったのですが、僕のことを覚えていてくれる人がいて嬉しかったです。人との関わりを、やっぱり大切にしたいといけないと実感しました」。この体験で一番感じたことは「相手は何を望んでいるのか、そのことを第一に考えることが大事ということ。相手が喜んでくれると、自分の喜びにもなりました」と語っています。

加我のどかさん(三年・函大付属柏稜高校出身)は、高齢者のグループホームでのボランティアを体験。お年寄りとうまく接したらよいかわからないので、事前に仲間とシミュレーションしてみた「そうですが、実際はぜんぜん違いました」と笑います。



平成18年度のボランティア体験報告会

深く記憶に残っているのは、目の不自由な女性とのふれあい、話をしている際にその女性が加我さんの手を握り「話せて良かった」と目を潤ませたことだそうです。「言葉も大切だけど、心を伝えることがもっと大切だと思いました。ボランティアを通して、人と関わり合い、本当に大切なことが学べたと感謝しています」と、振り返って語っていました。

藤谷くん、加我さんはじめ、ボランティア体験した学生一人ひとりの胸に、教科書では学べないことが深く刻みこまれたはず。す。

平成十九年度の公開講座

毎年好評の函館大学文化講演会、

今年度はアウンサー・森田美由紀さんを予定



公開講座実施委員会委員長
教授 今井 敏博

地元地域に学術・情報の提供・発信をするという基本理念のもとに、本学は毎年さまざまな内容の公開講座を企画し、開催してきました。昨年度は「函館大学文化講演会」として、義家弘介氏により「夢は逃げていかない」という演題で講演をしていただき、五八〇名程の方に聴講していただきました。恒例の秋の教養講座は、本学学長小笠原愈「子供の発達課題と学校、家庭の役割」を皮切りに、本学専任講師ドナルド・ミラー「高等学校歴史授業のあり方について」、本学教授今井敏博「教養としての会計学」、そして本学准教授津金孝行「教養としての経営情報」と、四つの講座を開催しました。

た「英検受験対策講座」(春秋各一回)、渡邊功プロによる高校生向け「夏季テニス講座」を実施しました。そして昨年度、新たな試みとして開講した韓文熙専任講師による「韓国語講座」も好評のうちに終了しました。

今年度は、函館大学文化講演会として、NHKと共催でNHK報道部アウンサー・森田美由紀さんに、九月下旬から十月上旬に講演をお願いしています。教養講座は、本学の石井晋良教授、片山郁夫教授、寺田隆至准教授として田中浩司准教授の四名が担当します。「英検受験対策講座」、「夏季テニス講座」、昨年度行いました韓国語講座は、「韓国語講座(中級編)」として実施します。そして今年度新たに「韓国語講座(初級編)」を開講します。

平成18年度 公開講座実績

2006 函館大学文化講演会

講師 義家弘介氏
日時 平成18年6月20日(火) 16:30~
会場 本学
演題 「夢は逃げていかない」



第1回 「子供の発達課題と学校、家庭の役割」
日時 平成18年10月30日(月) 18:00~19:30
講師 本学学長 小笠原 愈



第2回 「教養としての会計学」
日時 平成18年11月6日(月) 18:00~19:30
講師 本学教授 今井 敏博



第3回 「高等学校歴史授業のあり方について」
日時 平成18年11月13日(月) 18:00~19:30
講師 本学専任講師 ドナルド・ミラー



第4回 「教養としての経営情報」
日時 平成18年11月20日(月) 18:00~19:30
講師 本学准教授 津金 孝行

平成18年度 学校法人野又学園 決算書

資金収支計算書		資金収支計算書	
(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)		(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	
(単位:千円)		(単位:千円)	
資金収入の部		資金支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	2,135,696	人件費支出	1,968,782
手数料収入	39,757	教育研究経費支出	838,563
寄付金収入	3,877	管理経費支出	291,292
補助金収入	867,772	借入金等利息支出	22,966
資産運用収入	37,353	借入金等返済支出	184,183
資産売却収入	54	施設関係支出	86,780
事業収入	77,350	設備関係支出	40,096
雑収入	113,656	資産運用支出	143,758
前受金収入	478,060	その他の支出	189,294
その他の収入	480,315	資金支出調整勘定	△170,003
資金収入調整勘定	△572,722	次年度繰越支払資金	404,959
前年度繰越支払資金	339,502		
資金収入の部合計	4,000,670	資金支出の部合計	4,000,670

消費収支計算書

消費収支計算書		消費収支計算書	
(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)		(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	
(単位:千円)		(単位:千円)	
消費収入の部		消費支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	2,135,696	人件費	1,955,761
手数料	39,757	(内退職給付引当金繰入額)	(13,913)
寄付金	3,877	教育研究経費	1,083,649
補助金	867,772	(内減価償却額)	(245,086)
資産運用収入	37,353	管理経費	347,091
事業収入	77,350	(内減価償却額)	(55,799)
雑収入	113,656	借入金等利息	22,966
帰属収入合計	3,275,461	徴収不能額	3,383
基本金組入額合計	△275,306	資産処分差額	1,820
消費収入の部合計	3,000,155	消費支出の部合計	3,414,670
		当年度消費支出超過額	414,515
		前年度繰越消費収入超過額	483,592
		基本金取崩額	47,079
		翌年度繰越消費収入超過額	116,156

貸借対照表

貸借対照表		貸借対照表	
(平成19年3月31日現在)		(平成19年3月31日現在)	
(単位:千円)		(単位:千円)	
資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	16,812,681	固定負債	1,119,062
有形固定資産	(11,543,951)	流動負債	727,963
その他の固定資産	(5,268,730)	負債の部合計	1,847,025
流動資産	633,082	基本金の部	
		科目	金額
		基本金	15,482,582
		基本金の部合計	15,482,582
		消費収支差額の部	
		科目	金額
		翌年度繰越消費収入超過額	116,156
		消費収支差額の部合計	116,156
資産の部合計	17,445,763	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	17,445,763

NHK特派員として、自分が直接目にした世界をリアルに伝えていきたい。

NHKの特派員として豊富な海外経験を持つ島村矩生先生。報道の世界から離れた後に、函館大学の特別講師として教壇に立つようになり、六年になります。国際ジャーナリストだった島村先生の「国際関係論」はどんな授業か、興味をひくります。



—NHKでは海外赴任経験が長かったようですが、どのくらいの期間だったのですか？

島村 ● 海外赴任としてはロンドンに三回、通算十年間。ベトナムのサイゴンに二年半、そしてニューヨークにNHKアメリカ総局長として二年間ですが、特派員としてヨーロッパ、中東、東南アジアの

「国際関係論」の講義では、そうした経験が生きていくわけですね。

島村 ● そうですね、私が直接関わった各地域なり、各事件なりのエピソードを紹介しながら、学生の関心を

高めていこうと意識しています。今の学生は一八九〇年代に生まれた方々ですが、私との間の大きな世代のギャップがありますので、そのギャップを少しでも埋めようという気持ちで、でも、高校では近代以降の世界史をあまり教えられていないようなので、もう少し近代の世界史を教えてもらえると、私の話も分かりやすいと思うのですが。

島村 ● はい。おかげさまで、私のすばらしいコメントを残せたこと感謝しております。さて、いまの世界の情勢を見て、どのように感じていますか。

島村 ● はい。おかげさまで、私のすばらしいコメントを残せたこと感謝しております。さて、いまの世界の情勢を見て、どのように感じていますか。

島村 ● ささまざまな情報が洪水のごとくあふれる情報過多の中で、クールに自分の信じるものをつかみ、うまく活用する知恵と行動力を身につけてほしいと思います。

授業 アラカルト

『国際関係論』

客員教授 島村 矩生先生

